

2012年10月4日

新規農業用殺菌剤「プロレクタス」のイタリアにおける販売開始について

住友化学は、灰色かび病、^{きんかくびょう}菌核病および^{はいぼしびょう}灰星病などの病害を防除する果樹・野菜用殺菌剤「プロレクタス (Prolectus[®])」(有効成分:「フェンピラザミン」)を新たに開発し、今秋から、グループ会社「住友化学イタリア」を通じ、イタリアでの販売を開始いたします。

「プロレクタス」の有効成分「フェンピラザミン」は、住友化学が独自に探索・研究を重ねた結果得られた全く新しい構造をもつ化合物で、浸透性に優れているため農作物内部に侵入した病原菌に対して速やかに効果を発揮します。また、哺乳動物等に対する安全性が高く、残留リスクが低いため、幅広い農作物に対して収穫期直前まで使用できる点も特長です。

灰色かび病、菌核病および灰星病は、ブドウやモモなどの果樹や、インゲンマメ、ダイズなどのマメ類、トマト、ナス、ピーマン、キュウリ、ズッキーニ、イチゴ、チューリップなどの施設野菜・花卉をはじめ幅広い農作物に発生する病害で、世界の多くの地域で、効果的な防除方法が求められています。住友化学は、「フェンピラザミン」を含有する「プロレクタス」について、2012年7月に当社グループ会社「住友化学アグロヨーロッパ」を通じてイタリアでの仮登録を取得し、まずはイタリアでの販売を開始することとしたものです。

イタリア以外のEU域内では、現在、フランス、スペイン、イギリス、オーストリア、ドイツなどで登録を申請しており、2015年までには、EU全域に販売を拡大する計画です。また、アジアでは、既に登録を取得している韓国で2013年より販売を予定しているほか、日本では、製品名「ピクシオ[®]DF」として、現在、登録申請を行っています。その他の地域では、南アフリカやオーストラリア、ブラジル、チリ、アメリカなどでも登録を予定しており、順次、「フェンピラザミン」を含有する製品の登録、販売をグローバルに進めてまいります。

以上

【ご参考】 「住友化学アグロヨーロッパ」および「住友化学イタリア」の概要

社名	: Sumitomo Chemical Agro Europe S.A.S.	Sumitomo Chemical Italia S.r.l.
所在地	: フランス リヨン	イタリア ミラノ
設立年月	: 1994年	1993年(2011年現商号に変更)
社長	: Jean Yves Ravinet	Andrea Barella
資本金	: 3,990千ユーロ	1,000千ユーロ
出資比率	: 住友化学 100%	住友化学 100%